

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 一二三富の会

26A-07

代表者：代表理事 浜端 英男

URL : <https://hifumitominokai.wixsite.com/hifumitominokai>

1. 活動が必要とされた状況

活動の場「にっさい堀込の森」は、坂戸市西部に位置する0.68haの平地林であり、2014年から整備事業を開始し、2018年に坂戸市「市民緑地」の認定を受けた。その後も良好な緑地環境保全のための事業を継続している。特に今年は、森の病虫害にやられた不良樹木の伐採とそれを更新する広葉樹苗木の植込みを主体とした緑化促進活動を行う一方で、市民の憩いの場としての活用を目論んだ市民参加の3つのイベントを開催し、好評を得た。このような緑化促進活動は今後も継続していくことが必要であると考えている。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 緑化促進活動

緑化促進活動は年間を通して39回日行われ、参加延員数は317人に達し、1回当たり参加者は約8人であった。3つのイベントには運営スタッフとして61人の参加があった。

- ・4,5月：下草刈込、花木園へ植木移植、花苗植込み等を実施。
- ・6月：病虫害による不良樹木伐採の準備として、樹木医による樹木診断調査と樹木の番号札付けなどの作業を実施。
- ・7~11月：不良樹木と判断された桧の伐採作業を主体に進め、最終的に34本の桧を伐採して計画目標を達成。
- ・12月：伐採材及び伐採後のスペースを整理し、新規に19本のクヌギ、コナラを植込み緑環境の更新の活動を実施。
- ・1,2月：伐採材の整理と利用可能な材木の製材活用、不要材のチップ化などを行ない林間の環境整備。



7月 桧の伐採風景

(2) 森を活用した市民交流のイベントの開催

- ・8月26日：地元子供会の協力を得て「木工教室」を開催、6家族で子ども8人の参加があった。意外に少なかった理由は夏季休暇最後のため時期が不適切だったのだろう。
- ・11月3日：恒例となっている「森のプレーパーク」を開催。プレー種目としてはロープ渡りやジップラインなど7種目を用意し、子ども79名、大人56名の参加者で賑わった。
- ・12月16日：「みんなで門松をつくろう」を森で開催、子ども37名、大人34名の参加者があり結果は好評であった。



11月 プレーパーク参加の子どもたち

3. 活動の成果

不良樹木伐採除去とその更新を図った広葉樹の植込みによる緑化促進活動は、計画通り実施され、所期の目的を達成できた。また、このような環境整備を踏まえて行われた市民のためのイベント開催も、参加者からの高評価を受けて目的を達成することができた。

4. 今後に残された課題

- ①地域住民の緑地活用意識向上を図り住民参加による緑地維持管理の仕組みづくり。
- ②桧伐採活動によって多量に蓄積された丸太材の有効利用を考えた環境整備の推進。